

喜劇人類館

きげき
じん
るい
かん



彼らも私たちと同じ人間なのに……

那覇文化芸術劇場 なは一と(1階) 小劇場 2025 11.1(土) 14:00~、19:00~ 11.2(日) 14:00~ 11.3(月・祝) 14:00~

悲劇は覚めた視点で
相対化することによって
喜劇たらしめることができるのだ。
そして、現在、
特にそれが必要なのだと思う。
「際限のないリフレイン」を断つ、
新たなドンデン返しのために。

（知念正真、1976年）

那覇文化芸術劇場なはーとでは、「戦後」80年特別企画として、
喜劇『人類館』作・知念正真を上演いたします。
戦中・戦後の沖縄を巡る歴史を「人類館」の中で白昼夢の
ように見せる本作を、なはーとは「復帰50年」に上演しました。
ふたたび時代の節目を迎える今年、悲劇と喜劇の両面に迫る
新演出でさらなる可能性を追求します。

作者の娘・知念あかねが、共同演出に新垣七奈、舞台美術に
佐々木文美、衣装に藤谷香子を迎えて挑む、
「いっしょ遊び」と「ドンデン返し」の現場にぜひご来場ください。

じんるいかん 人類館とは…

1903年、大阪で開催された第5回勧業博覧会会場近くの見世物小屋で、「学術人類館」と称し、様々な地域の人と一緒に琉球人も展示されるといいう「人類館事件」が起きた。「人類館」はこの事件をモチーフに、皇民化教育、沖縄戦、米軍統治とベトナム戦争、本土「復帰」も織り込み、沖縄が辿った歴史を鋭い風刺で描き出す。1976年に初演され、78年には「演劇界の芥川賞」と呼ばれる岸田戯曲賞を受賞した。

知念正真 ちねん・せいしん（1941～2013） / 作

劇作家。沖縄生まれ。コザ高校卒業後、東京の二松学舎大学に入学するも中退。その後、劇団青年芸術劇場に研究生として入団、1963年に退団し、帰郷。演劇集団「創造」に加わり、俳優・演出家として活躍。72年には劇作家としても活動を開始。76年に「人類館」を発表し、「創造」で上演。1903年の大阪・第5回勧業博覧会会場近くで“人間の展示”を行った「学術人類館」に発する「人類館事件」を出発点に、沖縄口と沖縄大和口を織り交ぜ、場面展開にも実験性を持たせた本作は、78年に沖縄の作家として初の岸田戯曲賞を受賞。その後も沖縄の地から人間が抱える様々なテーマとメッセージを含めた作品を残した。

作：知念正真 演出：知念あかね、新垣七奈 出演：井上あすか、神田青、仲嶺雄作

知念あかね ちねん・あかね

沖縄県那覇市出身。演奏家、音楽講師。幼少期より音楽を学び、演奏活動と指導等、長年クラシック音楽の普及に携わる。2013年に亡くなった父・知念正真の作品の継承のために20年に「AKNプロジェクト」を発足。知念正真の作品を中心に、戯曲、音楽、文学等の芸術活動を通して「沖縄の若年層が楽しめる舞台作り」をテーマに活動。21年にコロナ禍で「喜劇・人類館」（演出：上江洲朝男）の配信上演をプロデュースし、22年には那覇文化芸術劇場なはーとにて沖縄「復帰」50年特別企画として上演（演出：佐藤尚子、知念あかね）。

新垣七奈 あらかき・なな

演劇ユニット多々ら主宰。高校から演劇を始め、2016年にユニットを結成。これまでのユニット公演ではすべての作品の演出を行う。演劇人コンクール 2024にて奨励賞受賞。俳優として外部作品に多数出演。近年の主な出演作には、20年コロナ禍でオンラインの開催が話題となった九州・沖縄版「未開の議場」オンライン（作：北川大輔）や、21年神里雄大が演出した『琉球怪談』（原作：小原健、演出：神里雄大）、23年なはーとプロデュースによる出会いシリーズ1「声」（原作：ジャン・コクトー、演出：和田ながら）がある。

ドラマトウルク・林立騎 [那覇文化芸術劇場なはーと] 音響プラン：山口剛 [(同)ネクストステージ] 音響オペレーター：屋比久夏芽 [(株)エスエルアイ] 音響アシスタント：嘉陽桃瀬 照明：棚原崇作 [(株)エムエススタジオ] 英訳：金城正樹 英語字幕オペレーター：比嘉啓和 演出助手：山本舞子 演出部：砂川政秀 大道具製作：(同)みやぎ大道具 舞台監督：津嘉山弘 [月光道 (同)] イラスト：大白小蟹 バリアフリー字幕デザイン：南部充央 バリアフリー字幕操作：渡久地準 ハラスメント防止研修：植松侑子 宣伝美術：アイディアにべん 制作：喜舎場梓、土屋わかこ 村上佳子 [那覇文化芸術劇場なはーと]

主催：那覇市 共同製作：国際芸術祭「あいち」組織委員会 企画制作：那覇文化芸術劇場なはーと、AKNプロジェクト、国際芸術祭「あいち」組織委員会

佐々木文美 ささき・あやみ / 舞台美術

セノグラファー。快快 (FAIFAI) メンバー。多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科卒。演劇、ダンス、音楽、展示などに舞台美術、セノグラフィーとして参加したり、レクチャーパフォーマンスもする。

藤谷香子 ふじたに・きょうこ / 衣裳

衣裳家。快快 (FAIFAI) メンバー。多摩美術大学在学中より衣裳家として活動を始め、国内外の演劇、ダンス、オペラ、コンサート、現代美術の作品や芸術祭でのパフォーマンス作品に参加し、多岐にわたる分野で活動を行う。その他の活動として、宣伝衣裳、美術館でのワークショップ、講師として授業なども行う。



撮影：仲間勇太

公演日程

2025 (令和7) 年

11月1日 (土) 14:00 開演 ◎、19:00 開演
2日 (日) 14:00 開演 ◎
3日 (月・祝) 14:00 開演

※ 開場は開演の30分前 ※ 上演時間110分 (予定) ※ 各回公演後、トークを予定しております。
※ 英語字幕あり

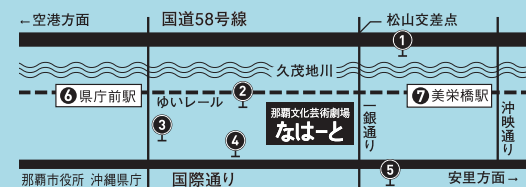
◎11月1日 (土)・2日 (日) 各14時の回のみ託児サービス (事前予約・有料) あり

★全公演、日本語バリアフリー字幕あり。鑑賞サポート、託児サービス、アフタートークについての詳細は、なはーとWEBサイトにてご確認ください。



会場 那覇文化芸術劇場なはーと (1階) 小劇場

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27



バス
①若松入口 徒歩約6分 ④松尾一丁目 徒歩約6分
②久茂地公民館前 徒歩約2分 ⑤松尾 徒歩約6分
③冲銀本店前 徒歩約6分

モノレール
⑥県庁前駅 徒歩約6分
⑦美栄橋駅 徒歩約6分

※ 一般駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
※ バリアフリー駐車場、二輪 (バイク・自転車) 専用駐車場は若干台数ございます。

問い合わせ
那覇文化芸術劇場なはーと

電話 | 098-861-7810 受付時間：10:00～19:00
休館日は第一・第三月曜日／祝日の場合は翌火曜日
WEB | <https://www.nahart.jp> | メール | kikaku-nahart@city.naha.lg.jp

チケット (エリア内自由席／税込)

	1階席	2階席
一般	3,500 円	3,000 円
U24 (24歳以下)・障がい者・介助者	2,000 円	1,500 円
18歳以下	1,000 円	800 円

※ 当日券は500円増 ※ 1階席と2階席は入場口が異なります。 ※ 障がい者のかた1名につき、介助者は1名まで。 ※ 車いす席 (1階席のみ) には限りがあります。 ※ 介助者・車いす席ご利用の方は、購入前にお問い合わせください。 ※ 障がい者チケット、U24、18歳以下チケットをご購入の方は、当日受付にて障害者手帳または身分証のご提示をお願いする場合があります。 ※ 未就学児入場不可 ※ 本公演のチケットをなはーと周辺の対象店舗でご提示いただくとお得なサービスが受けられます。詳細や対象店舗についてはなはーとWEBからご確認ください。

チケット発売日 2025年10月3日 (金) 10:00

- 取り扱い 那覇文化芸術劇場なはーとチケットサービス
- 窓口 営業時間10:00～19:00 (休館日を除く) ※ 窓口でのお支払いは現金のみ
- WEB <https://p-ticket.jp/naha> (24時間対応)

